

位置図

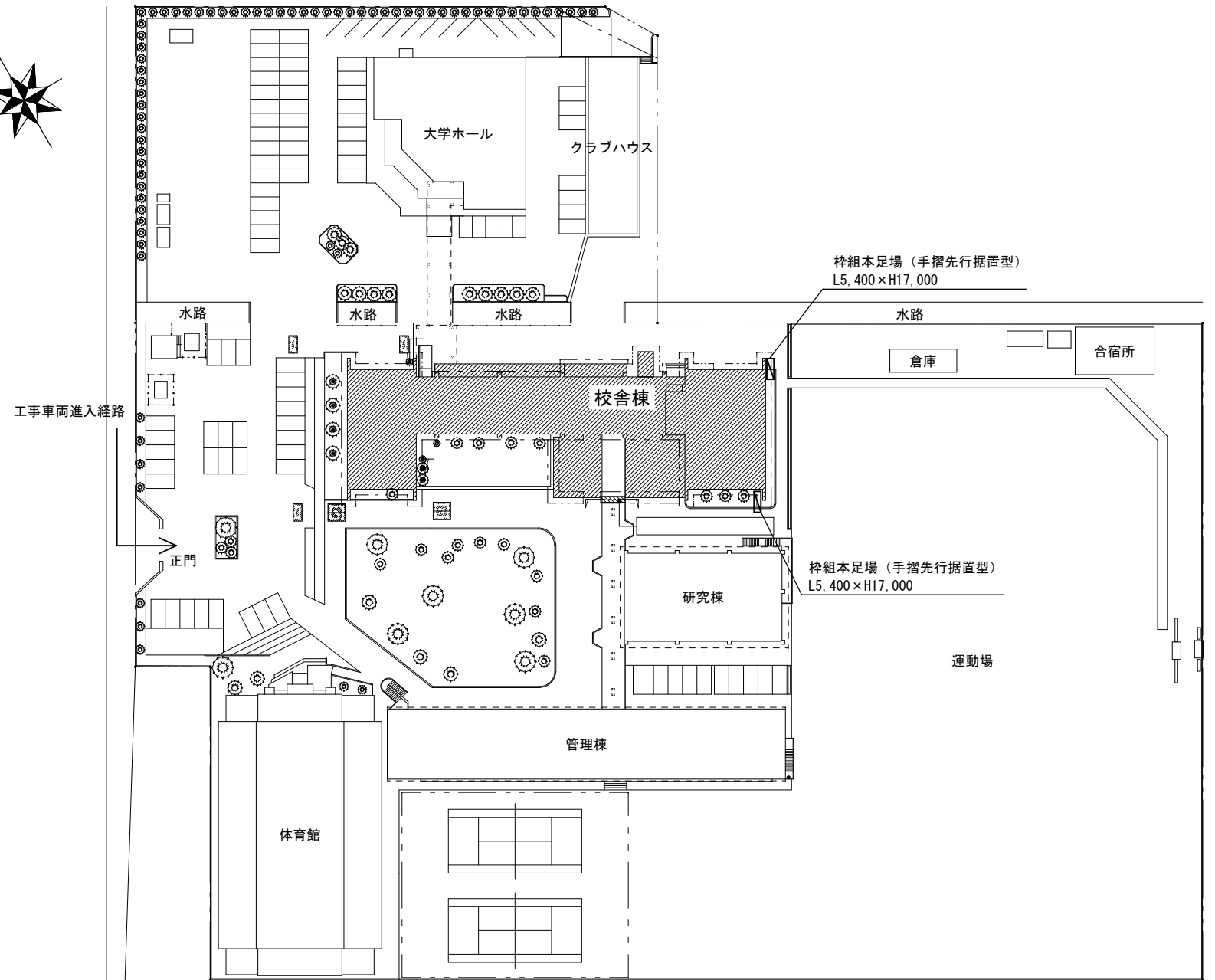
特記事項

(工事概要)

- ・本工事は、三重短期大学校舎棟における、雷保護設備の設置工事を行うものである。

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、作業日については、施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、工事の日程を決めること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工事用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び 工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。
- ・本工事の足場及び外構工事にあたっては、原則令和5年8月11日から令和5年9月15日に施工を行うこと。ただし、上記の期間以外であっても、監督員、施設管理者と打合せをし、施設運営に影響がない箇所は施工可能とする。



配置図 1/1000

改修箇所

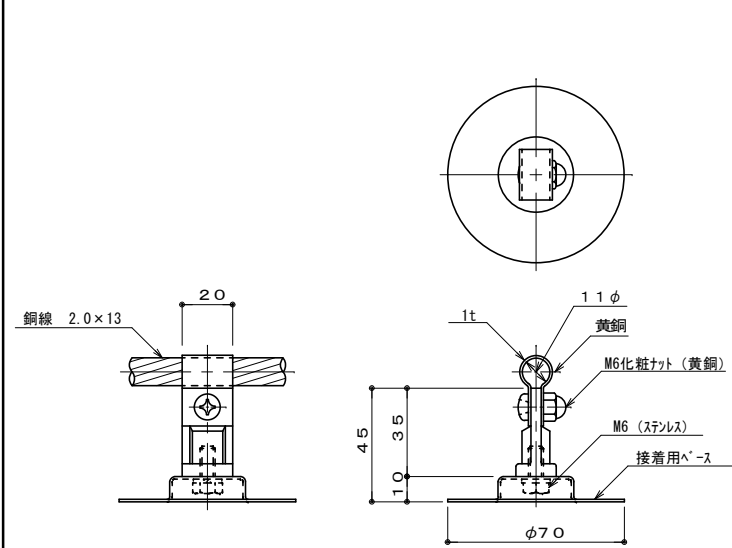
(解体撤去処分)

- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
- ・また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、速やかに施工報告書(マニフェスト等の写しA・B2・D)を市監督員に提示すること。
- ・工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告すること。

(適応基準)

- ・国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編、電気設備工事編 令和4年版)
- ・国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編、電気設備工事編 令和4年版)
- ・国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図」(建築工事編、電気設備工事編 令和4年版)
- ・国土交通省大臣官房庁営繕部監修「建築、電気設備工事監理指針令和4年版」
- ・その他関係法令

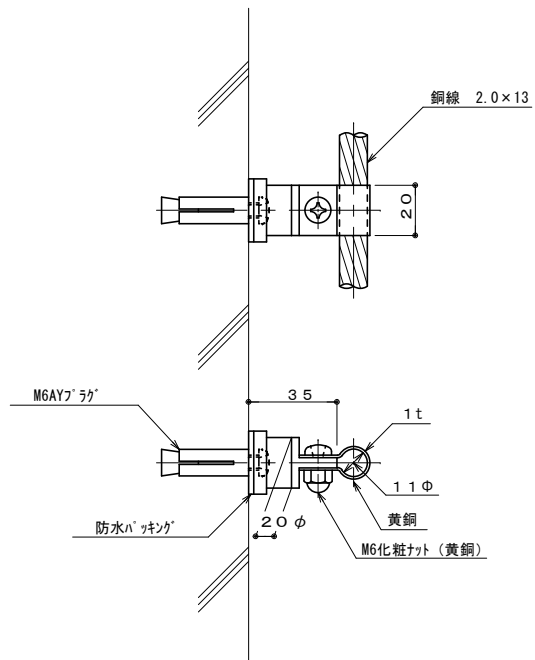
三重短期大学校舎棟雷保護設備設置工事		縮尺 1/1000
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A3
津市建設部営繕課		No. 1/5



貼付用

銅線取付金物

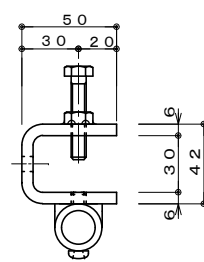
S = 1/3



コンクリート用

銅線取付金物

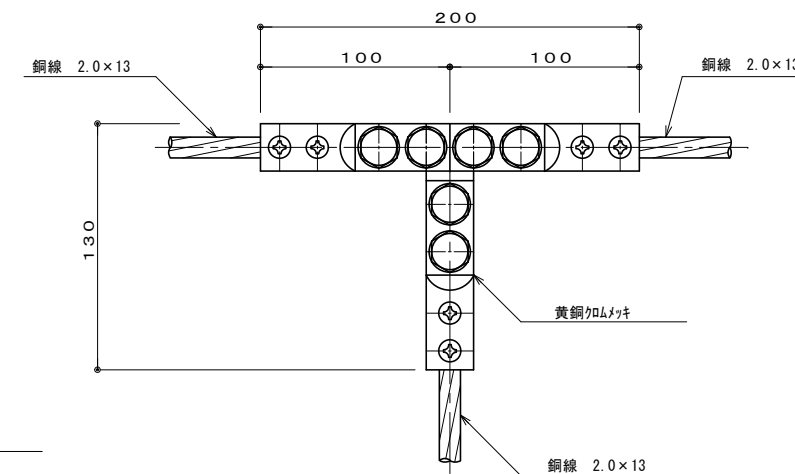
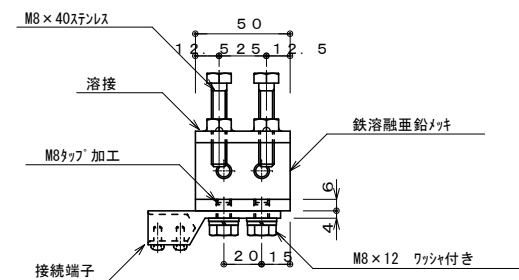
S = 1/3



クランプ用接続端子

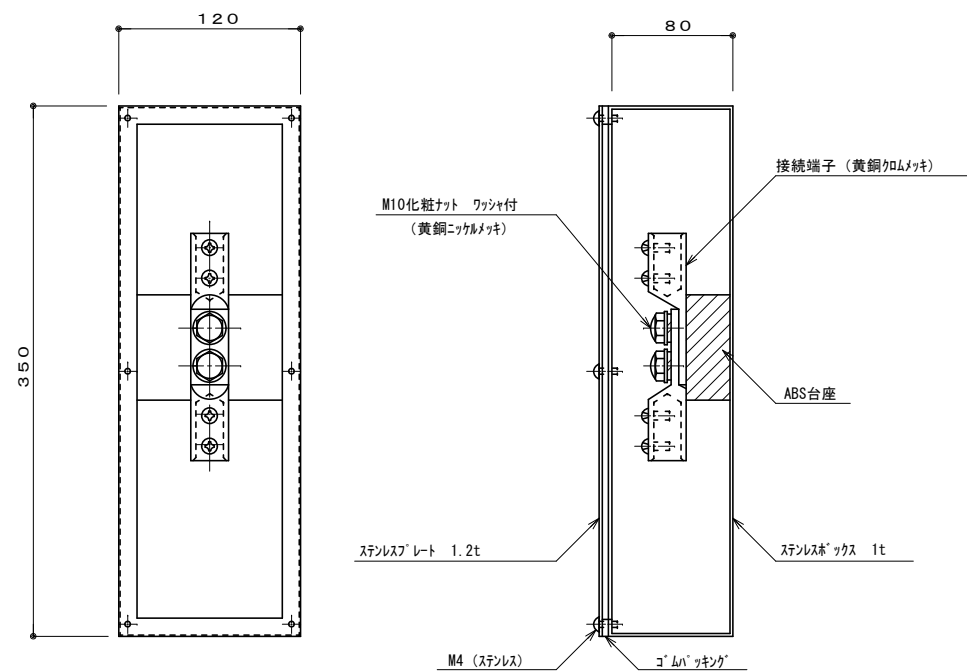
クランプタイプ

S = 1/4



T型接続端子

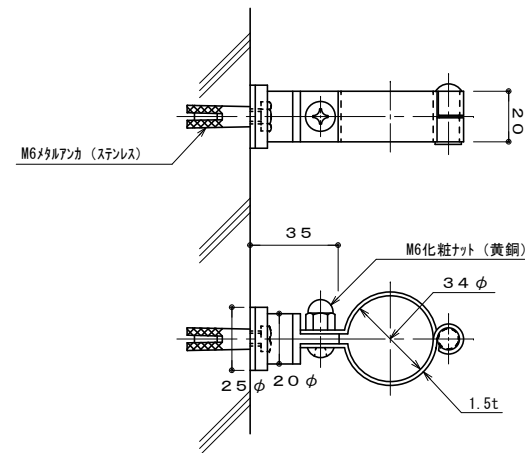
S = 1/4



露出型・2端子

接続端子箱

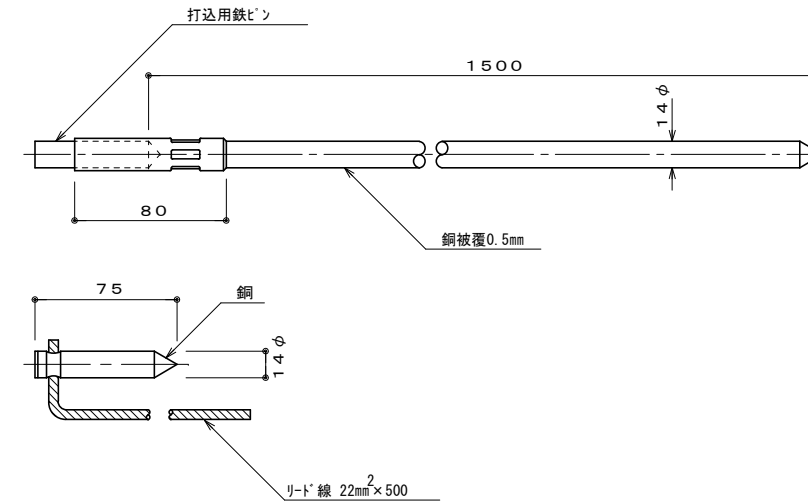
S = 1/5



コンクリート用

保護管取付金物 (黄銅製)

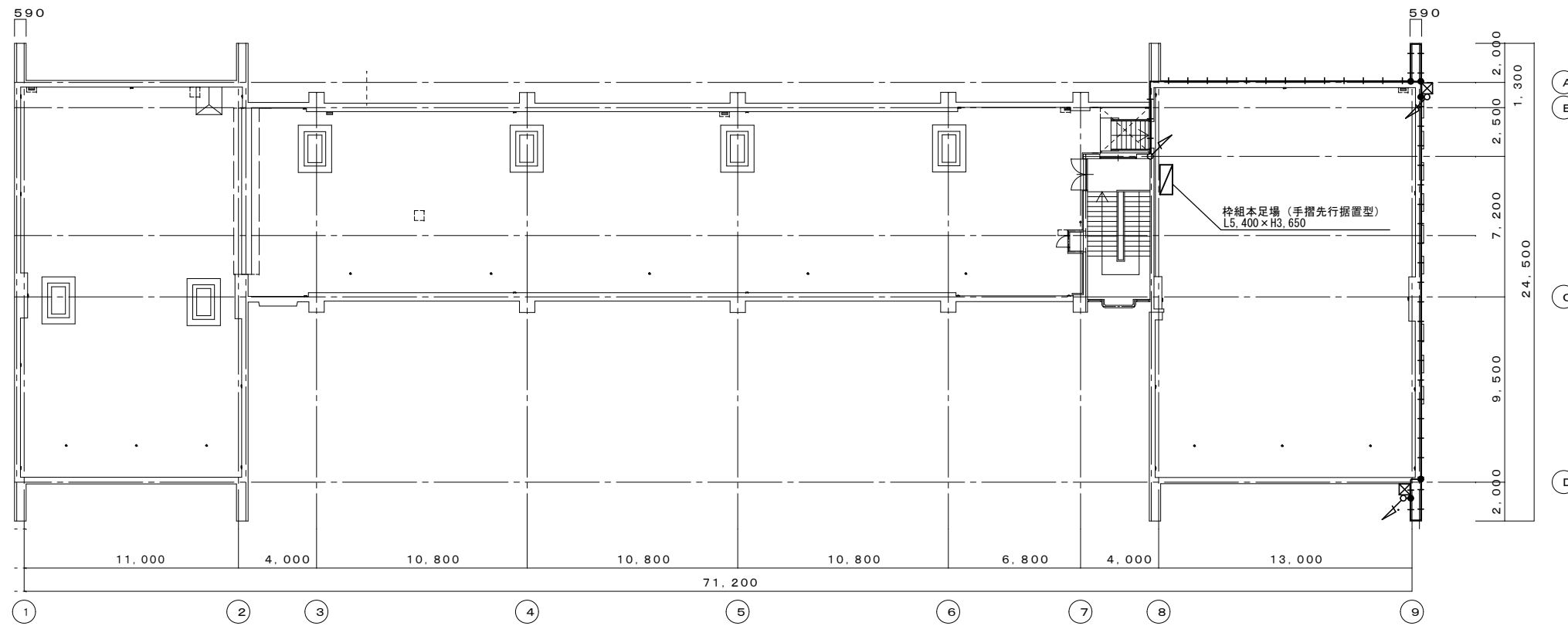
S = 1/3



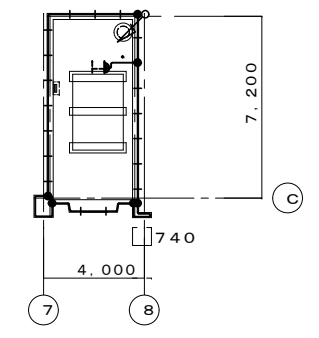
7-ス棒

S = 1/4

三重短期大学校舎棟雷保護設備設置工事		縮尺	1/3 1/4, 1/5
図面名称	機器詳細図	原図	A3
津市建設部営繕課		No.	2/5



屋上平面図 S=1/300



塔屋伏図 S=1/300

雷保護設備凡例

記号	名 称
—+—+—+—	銅線 2.0×13
—+—+—+—	銅線取付金物 水平@=600 垂直@=1000
—+—+—+—	貼付用 立上げ・立下げ部はコンクリート用
— — — —	クランプ 受雷部利用 ※ 材料・厚さ・断面積は、JIS規格に基づく。
●	クランプ用接続端子
●	T型接続端子
⊠	接地端子箱 露出用 2端子 (ステンレス製)

※ JIS A 4201:1992の規定に基づく。

三重短期大学校舎棟雷保護設備設置工事		縮尺 1/300
図面名称	屋上平面図	原図：A 3
津市建設部 営繕課		No. 3/5

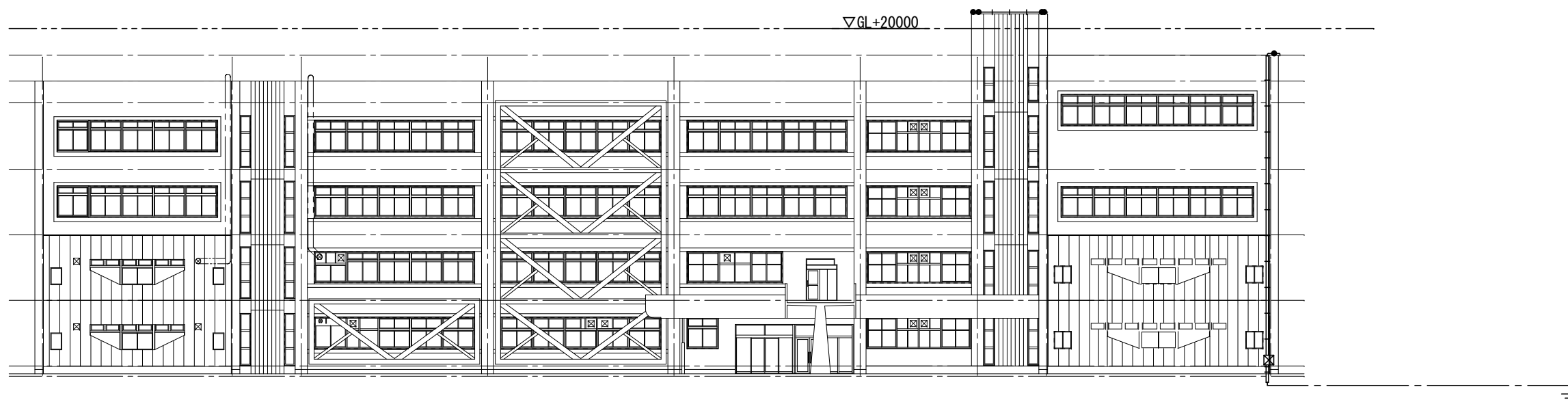
雷保護設備凡例

記号	名	称
—+—+—+—	銅線 2.0×13	
—+—+—+—	銅線取付金物 水平@=600 垂直@=1000	
—+—+—+—	貼付用 立上げ・立下げ部コンクリート用	
—+—+—+—	クランプ 受雷部利用	
—+—+—+—	※ 材料・厚さ・断面積は、JIS規格に基づく。	
—+—+—+—	クランプ用接続端子	
●	T型接続端子	
⊠	接地端子箱 露出用 2端子 (ステンレス製)	
—+—+—+—	保護管 (HIVE28)	
—+—+—+—	保護管取付金物	
—+—+—+—	銅線 2.0×13 (FEP30) 埋設シフト共	
⊥	接地極 銅板式 (900×900×1.5t) ×1	(接地極埋設極共)
⊥	連結用7-スチール 14Φ×0.5t×1.5m ×20	

※ JIS A 4201:1992の規定に基づく。

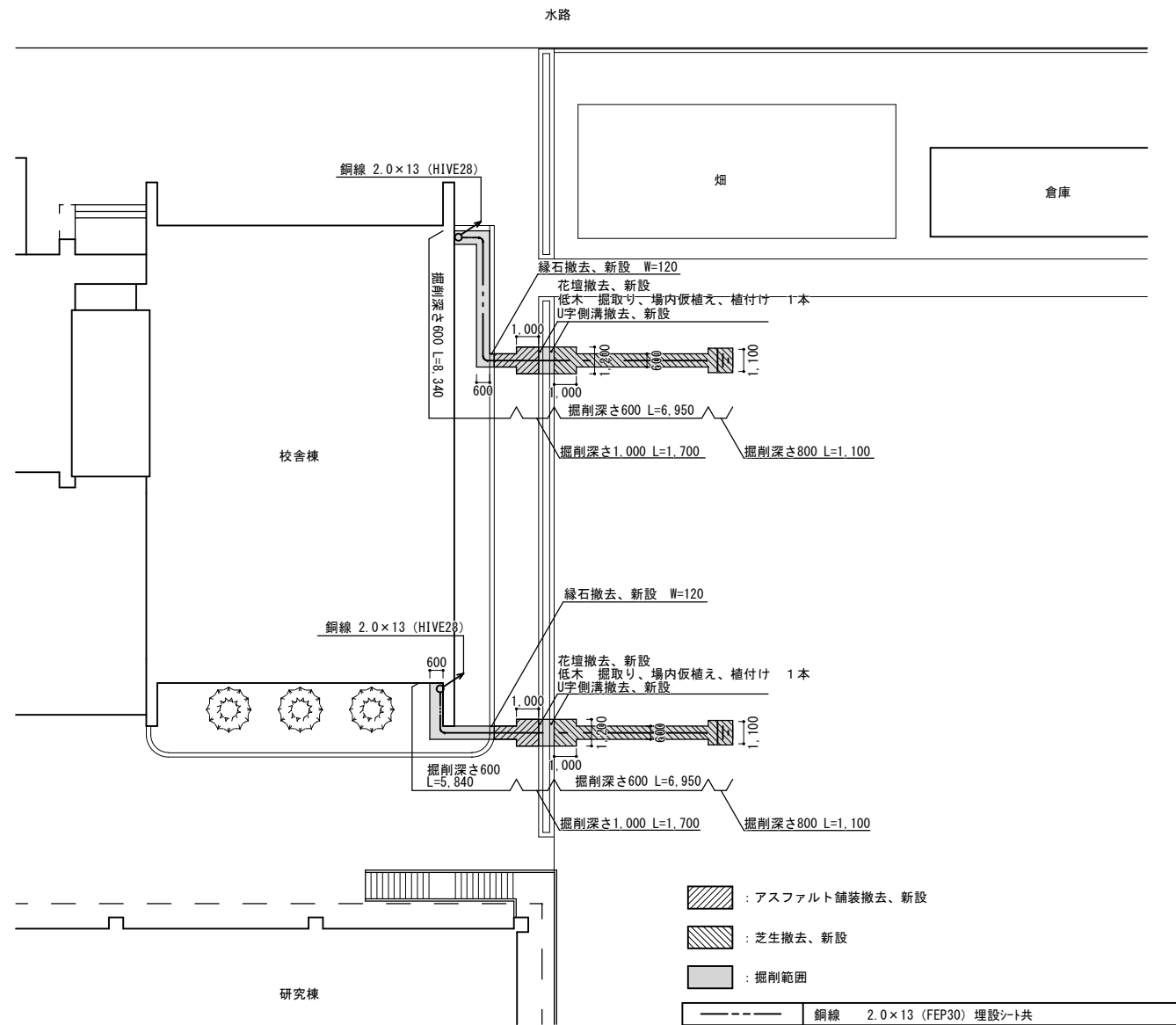


東立面図 S=1/300



南立面図 S=1/300

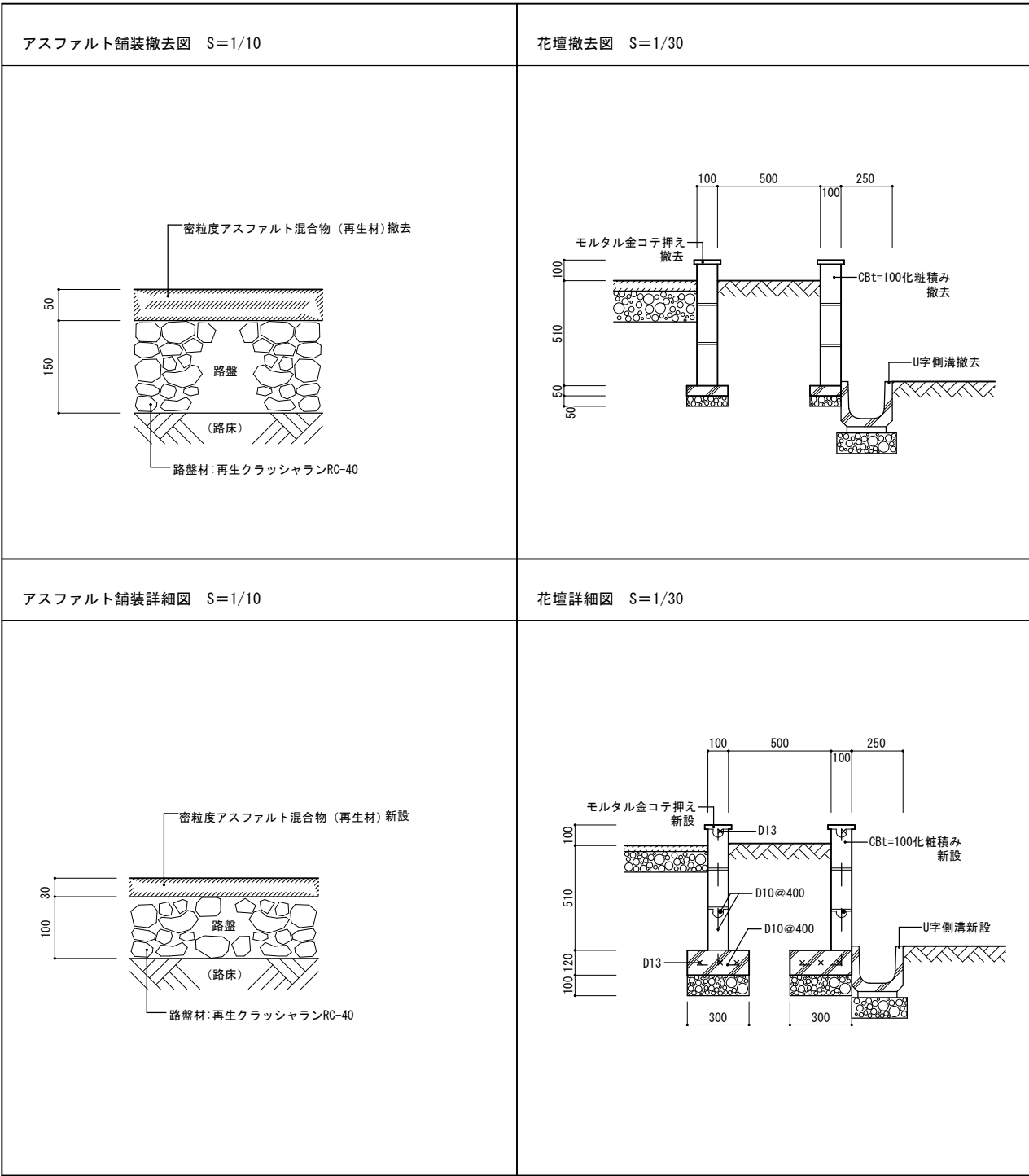
三重短期大学校舎棟雷保護設備設置工事		縮尺 1/300
図面名称	立面図	原図 : A 3
津市建設部営繕課		No. 4/5



	: アスファルト舗装撤去、新設
	: 芝生撤去、新設
	: 掘削範囲
	鋼線 2.0×13 (FEP30) 埋設シート共
	接地極 銅板式 (900×900×1.5t) ×1 (接地極埋設標共)
	連結用7-ス棒 14Φ×0.5t×1.5m ×20 (接地極埋設標共)

※JIS A 4201:1992の規定に基づく。

外構図 S=1/300



三重短期大学校舎棟雷保護設備設置工事		縮尺 1/300 1/10, 1/30
図面名称	外構図	原図 : A 3
津市建設部営繕課		No. 5/5